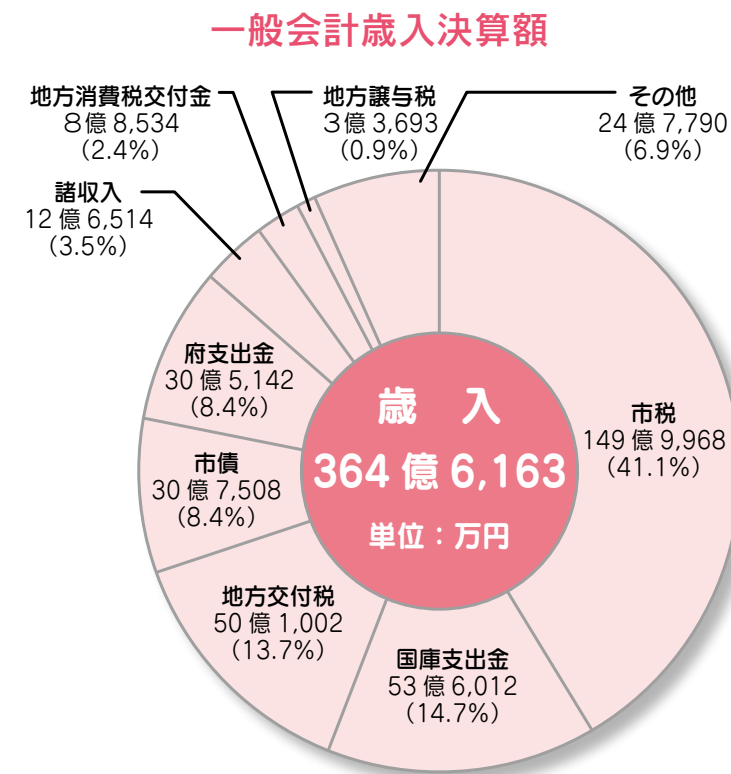


# 決算報告

平成23年度の決算についてお知らせします。市民参画や行財政改革を進める中で、「安心の医療があるまちづくり」「活力あるまちづくり」「安心して生活できるまちづくり」「市民とともに歩む信頼できる市政」の4つの基本方針に基づいて諸施策の展開を図ってきました。その結果、一般・特別会計（企業会計を含む）の総額は、歳入が621億1,791万円（前年度から1.5%減）、歳出が610億6,260万円（前年度から1.9%減）となりました。



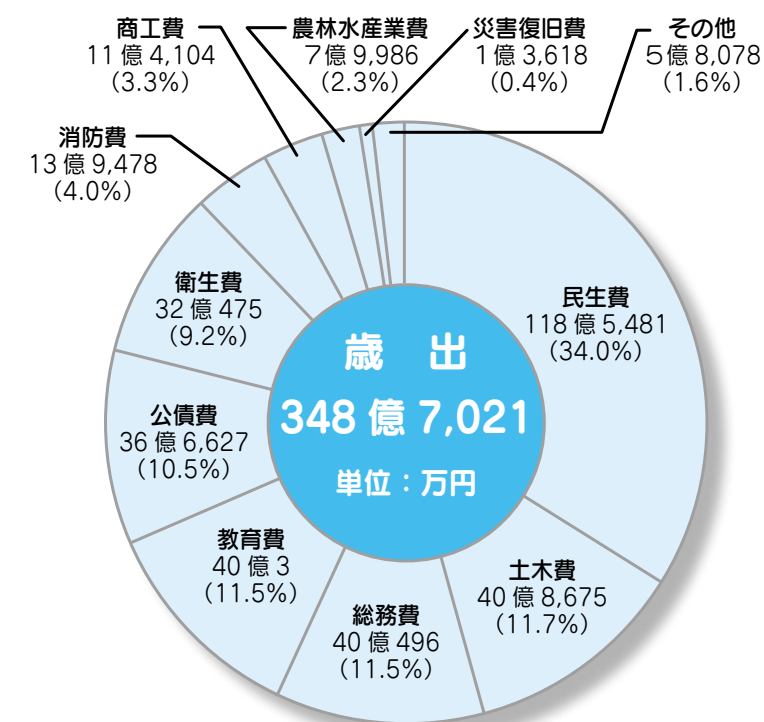
### 一般会計歳出決算額

#### 歳入

- 【市税】 市民税、固定資産税、軽自動車税など
- 【国庫支出金】 国からの負担金、補助金、委託金
- 【地方交付税】 財政力に応じて国から交付される財政調整金
- 【市債】 借入金
- 【府支出金】 府からの負担金、補助金、委託金
- 【諸収入】 市が貸し付けていたお金の返済金など
- 【その他】 国からの交付金やその他の雑収入

#### 歳出

- 【民生費】 子ども・高齢者・障害者などの福祉
- 【土木費】 道路や公園の建設・改修など
- 【総務費】 事務管理や庁舎管理、交通安全対策など
- 【教育費】 義務教育や社会教育、スポーツ振興など
- 【公債費】 借りたお金の返済
- 【衛生費】 健康づくりやごみ処理など
- 【消防費】 防災対策の強化や消防署の運営など
- 【商工費】 観光PRや中小企業への支援など
- 【農林水産業費】 農業・林業・水産業の振興など
- 【災害復旧費】 農地や道路などの災害復旧
- 【その他】 ◆議会費…市議会の運営  
◆労働費…雇用対策



#### 一般会計決算の主な財政指標

形式収支	15億9,142万円	歳入から歳出を引いた額
実質収支	14億57万円	上記の形式収支から、翌年度へ繰り越すべき財源を引いた額
単年度収支	10億7,350万円	上記の実質収支から、前年度の実質収支を引いた額
経常収支比率 (普通会計)	84.4%	経常的な一般財源に対する経常的な歳出の割合 (この比率が高いほど財政が硬直化し自由度が少なくなっているといえます) 【参考】22年度 全国市町村平均値：89.2%



1. 舞鶴地域医療連携機構準備会議を開催



2. 「ばしふいっくびいなす」による京都舞鶴港発着クルーズを実施



3. 「リーディング産業チャレンジファンド」の公開プレゼンテーションを開催



4. 舞鶴赤れんがパークでさまざまなイベントを開催



5. 白糸中学校改築事業の竣工式



6. 路肩を緑色に着色して歩行スペースを明示 (高野小学校前)



7. 行政情報などを配信



8. 市の事業を市民の目線でチェック



9. ナホトカ市文化交流団によるコンサート

#### 【主な重点施策】

##### 安心の医療があるまちづくり

1. 地域医療の再生に向けた取り組み

##### 活力あるまちづくり

2. 京都舞鶴港発着クルーズの推進
3. まいづる元気産業創出事業
4. 舞鶴赤れんがパークの整備

##### 安心して生活できるまちづくり

5. 白糸中学校の改築事業
6. みんなにやさしい安全道路整備

##### 市民とともに歩む信頼できる市政

7. まいづるメール配信サービスの構築
8. 公開事業評価の実施

##### そのほかの取り組み

9. 舞鶴・ナホトカ姉妹都市提携50周年記念事業

#### ◆ 一般会計

一般会計では、最重要課題である地域医療の再生に向けた取り組みや「日本海側拠点港」に選定された京都舞鶴港を活用した取り組みをはじめ、まいづる元気産業創出事業として、意欲ある事業者の新たな取り組みを支援する「リーディング産業チャレンジファンド」、市の事業について公開の場で議論する公開事業評価を実施しました。

また、日常的に利用されている生活道路や通学路の安全対策のほか、子育て支援医療費の助成、行政情報などのメール配信サービスシステムの構築などを行いました。

一方、歳入では、舞鶴発電所の償却資産に係る固定資産税などが、前年を上回る大幅な伸びとなりました。その結果、歳入が364億6,163万円（前年度から0.7%減）、歳出が348億7,021万円（同2.7%減）で、24年度へ繰り越す額（1億9,085万円）を除いた実質収支は14億57万円を黒字となりました。